

# 個別飼育によるウグイの餌料効率の算出

福島県内水面水産試験場 生産技術部

## 1 部門名

水産業－内水面（増養殖）－餌量

## 2 担当者名

遠藤雅宗・佐々木恵一・佐藤太津真・藤田恒雄

## 3 要旨

養殖魚の餌料効率の算出は、従来、魚を集団で飼育し、総給餌量と総増重量を用いて計算していた。これによって得られる餌料効率は、個体間のバラツキを無視し、全体を加重平均したものであり、個体ごとに飼育して餌料効率の個体差を算出した例はない。今回、ウグイを1尾ずつ個別に106日間飼育し摂餌量を把握することで、魚の年齢や摂餌率により、餌料効率がどのように変化するかを調査した。

- (1) 魚体の増重量を摂餌量で除した餌料効率は2歳魚より1歳魚の方が高かった(図1)。また、餌料効率は、2歳魚の方がばらつきが大きかった。
- (2) 摂餌率と餌料効率の関係をみると、1歳魚では摂餌率が高いと餌料効率が若干低下する傾向がみられた(図2)。

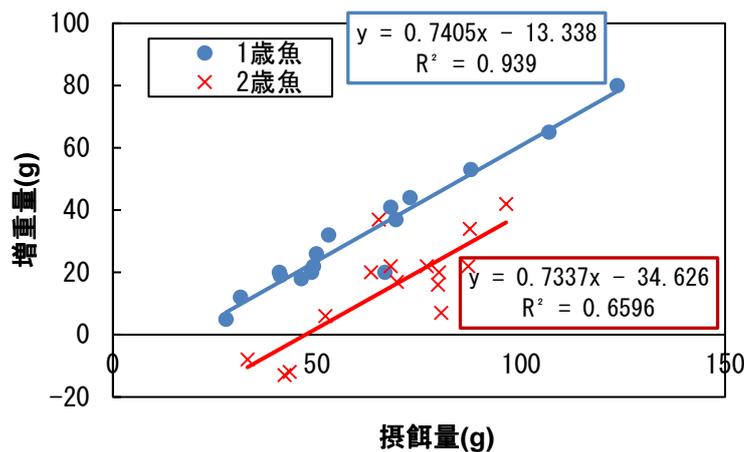


図1 摂餌量に対する増重量

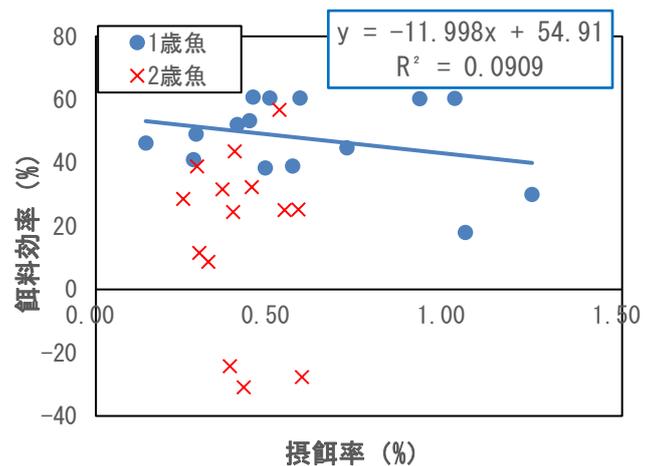


図2 摂餌率に対する餌料効率

## 4 成果を得た課題名

- (1) 研究期間 平成28～令和2年度
- (2) 研究課題名 淡水魚種苗企業化試験